

ý , 1 ö 3 ¿ 1 V B { z q »  
SDGs~ k x ý x ß ~ ± ~ ° Ü

} ß ï  
z u ö ô Ü , ý û ¾ü | ~ ù } ë  
JILS ý , 1 ö 3 ¿ 1 SDGs WG ý ý

ÿ o w ÿ  
SDGsÿ c ÿ ÿ ý z ~ p { ÿ x ý , 1 ö 3 ¿ 1 ~ · ï 1  
Û s x ° ý { t t v 1 ý , 1 ö 3 ¿ 1 SDGs WG  
w} w Õ û ² } ï w ~ y 2  
SDGs~ x ° ~ } s { q x z » x ~ t w y 2

ÿ \_ ë ÿ  
ÿ ÿ SDGs x ý , 1 ö 3 ¿ 1 { t t v  
ÿ ÿ ý , 1 ö 3 ¿ 1 SDGs WG { t t v  
ÿ ÿ < SDGs x ý , 1 ö 3 ¿ 1 = u ¼ ´ ù  
ÿ ÿ z ¿ ° {

# SDGs 1/2

日本の物流が直面する課題の一つとして、「地球環境の持続可能性の確保やSDGsへの対応」が挙げられています。



図の出所: 総合物流施策大綱(2021年度~2025年度)概要  
[https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/sdgs\\_gaiyou\\_202202.pdf](https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/sdgs_gaiyou_202202.pdf)

SDGs 1-2

Society5.0 ~ SDGs

出所: 総合物流施策大綱(2021年度~2025年度)WEBページ(国土交通省)  
[https://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/seisakutokatsu\\_freight\\_tk1\\_000179.html](https://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/seisakutokatsu_freight_tk1_000179.html)

# SDGs 2/2

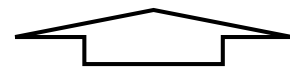
では、SDGsは、企業の経営管理（ロジスティクス）及び活動（物流）とどのようなかわりがあるのでしょうか。



(SDGsの17のゴール)



(ロジスティクス)  
 物流の諸機能を高度化し、調達、生産、販売、回収などの分野を統合して、需要と供給との適正化を図るとともに顧客満足を向上させ、併せて環境保全、安全対策などをはじめとした社会的課題への対応を目指す戦略的な経営管理。  
 (JIS Z 0111:2006 1002)



(物流)  
 物資を供給者から需要者へ、時間的及び空間的に移動する過程の活動。一般的には、包装、輸送、保管、荷役、流通加工及びそれらに関連する情報の諸機能を総合的に管理する活動。  
 (JIS Z 0111:2006 1001)

「ロジスティクスとSDGsは、どのような関係があるのか」  
 「企業はいかにSDGsを活動に取り込んでいくか」  
 というテーマで作業部会（WG）を設置し、検討しました。

現状認識及び課題

- 国際目標であるSDGsは、ユニバーサル（普遍的）なものであり、企業も取り組み主体である。  
 →企業において「いかにSDGsを企業経営に取り込むか」が重要な課題となっている。
- SDGsとロジスティクス分野の諸活動の関係は必ずしも明確な整理がされていない。  
 →ロジスティクス分野におけるSDGsの現状（取り組み状況や課題）を調査、共有する。



ロジスティクス分野におけるSDGs推進WG  
 （ロジスティクスSDGs推進WG）の設置

【主な実施・検討事項】

- アンケートによる実態調査
- メンバーの取り組み発表や論考の共有によるディスカッション
- SDGsにおける課題の整理（WGメンバーによる課題認識、取り組みの共有）
- 検討内容に関するとりまとめ、情報発信

WGには、ロジスティクス分野においてSDGsの推進に関心を持つ／実践しているメンバーが集いました。

■ロジスティクス分野におけるSDGs推進WG（ロジスティクスSDGs推進WG）

WGのメンバーは、ロジスティクス分野においてSDGsの推進に関心を持つ／実践しているメンバーが集まりました。

WGのメンバー

- ・ 2021年10月～2022年3月
- ・ 2021年10月～2022年3月
- ・ 2021年10月～2022年3月

WGのメンバー

- ・ 2021年10月～2022年3月
- ・ 2021年10月～2022年3月
- ・ 2021年10月～2022年3月

2021年10月～2022年3月

JILS法人会員向けのアンケートやWGでの議論を踏まえて、「なぜSDGsに取り組むのか」をWGメンバーでまとめることとしました。

(JILS法人会員向けアンケート調査の結果)

- SDGsの認知度は89.2%、
- 全社として取り組んでいる企業は65.8%
- 物流・ロジスティクス部門で取り組んでいる企業は54%
- 取り組んでいる企業の主な目的は、「ESG対応、労働環境の改善、将来的なリスク対応」
- (自由回答では、) **「SDGsと物流・ロジスティクス事業との紐づけが課題」、「荷主の期待が明確ではない」、「何が正しいのかわからない」といった回答もありました。**



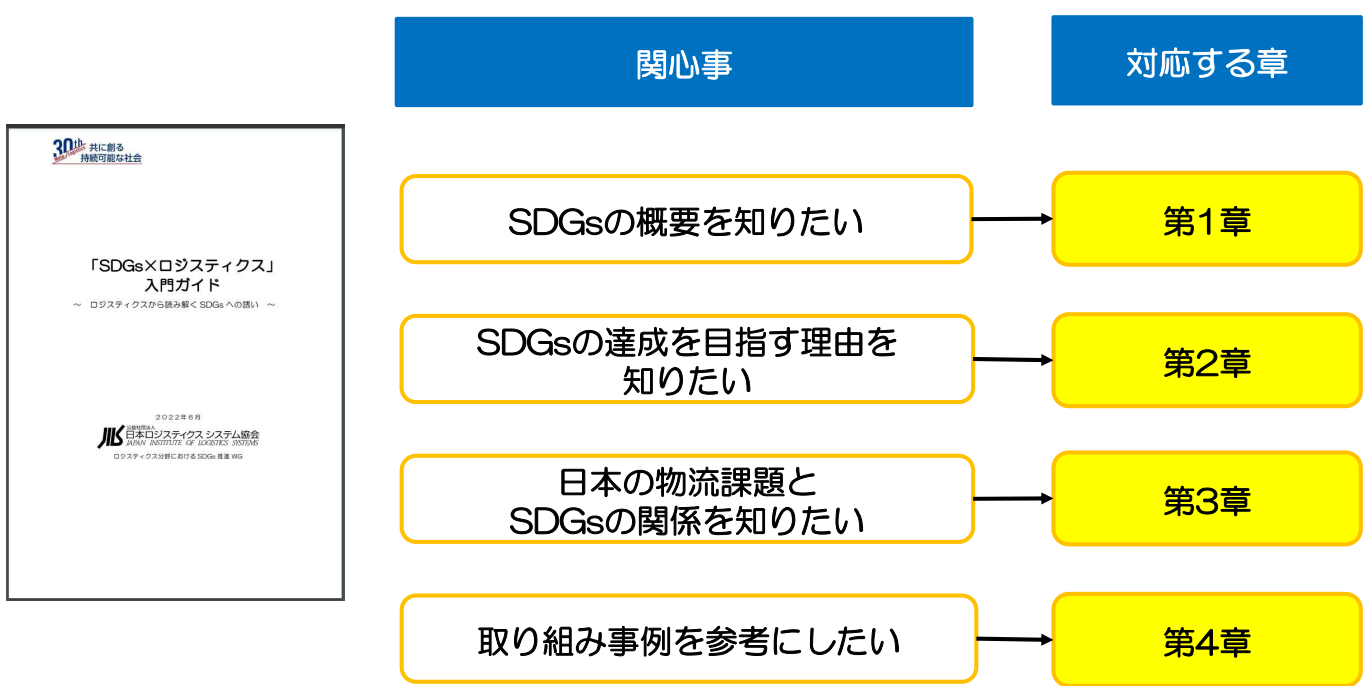
(アンケートを踏まえたWGでの議論の結果として、)

- 「どのようにSDGsに取り組むのか (How)」の前に、「**なぜSDGsに取り組むのかという意義 (Why)**」を共有 (発信) したい。
- 検討成果もWhyの視点から**読み物としてまとめた**い。
- 物流・ロジスティクスの機能／各プロセスとSDGsの各ゴールの関係をモデル的に示すのではなく、**具体的な事例を示したい**。

アンケート結果の詳細は、「SDGs×ロジスティクス入門ガイド」をご覧ください。

SDGs×ロジスティクス 入門ガイド

「『SDGs×ロジスティクス』入門ガイド」は、4つの関心事に基づいて、検討結果をまとめました。



JILSホームページよりダウンロードできます。

## SDGsの概要・経緯

第1章では、SDGsの概要・経緯を簡潔に説明しています。



出所:SDGsの17のゴール(出所:外務省)

[https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/sdgs\\_gaiyou\\_202202.pdf](https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/sdgs_gaiyou_202202.pdf)

8

## SDGsの概要・経緯

第2章では、産業界・企業の視点から、SDGsに取り組む動機（捉え方）を考察しています。

産業界

- ・ カーボンニュートラル等の社会課題への対応
- ・ 「災害の激甚化」への適応策・緩和策
- ・ 社会としてのレジリエンスを高めること
- ・ 投資家によるESG投資の重視
- ・ 物流業界における構造的問題(社会課題)への対応

企業

- ・ (経済合理性だけではない)企業としての目標設定
- ・ 組織のゴーイングコンサーンの追求
- ・ 複雑性を増す外部環境(非連続変化)への対応
- ・ 消費者の意識の変化への対応
- ・ ビジネスチャンス(SDGsビジネス市場)への参入

9



既にSDGsに取り組んでいるロジスティクス関係者は「ESGや将来的なリスク対応、労働環境の改善」を動機（目的）としています（第3章）。

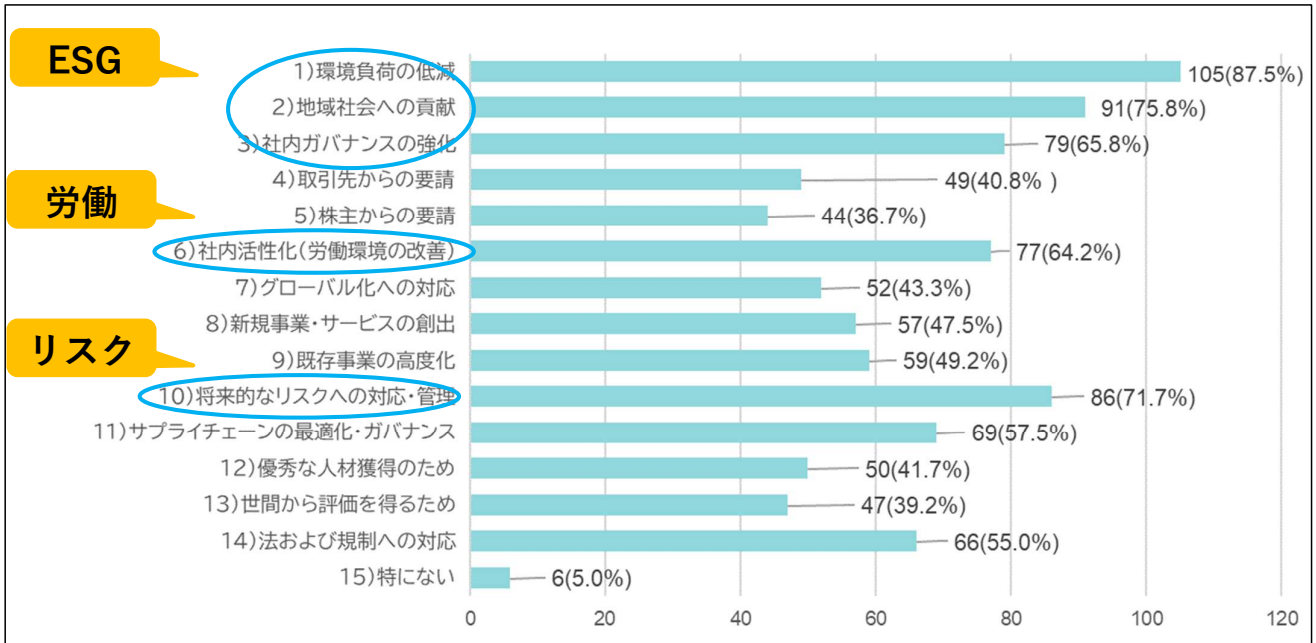


図 SDGsへの取り組み動機（アンケート調査より）

物流業界の現状を示す統計データをもとに、日本の物流課題とSDGsの各ゴールのつながりを考察しました（第3章）。

**物流業界の労働時間、賃金水準**

- 1 貧困をなくそう
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 8 働きがいも経済成長も
- 10 人や国の不平等をなくそう

**物流業界における女性活躍**

- 1 貧困をなくそう
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 10 人や国の不平等をなくそう

**物流事業者の経営状況**

- 8 働きがいも経済成長も
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 17 パートナースHIPで目標を達成しよう

**物流業界の労働生産性**

- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう

**荷主と物流事業者の取引関係**

- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 17 パートナースHIPで目標を達成しよう

**日本の労働者の能力開発**

- 4 質の高い教育をみんなに

## SDGs × 物流の定義と関係性

(本来の) ロジスティクスの定義には、「需給管理と顧客満足の上昇」とともに、「社会課題への対応」を目指すことが示されています。

手段として  
(イノベーション・効率化・標準化)

サプライチェーンで考える  
= 時間と空間の拡がりとして考える

「物流の諸機能を高度化し、調達、生産、販売、回収などの分野を統合して、需要と供給の適正化をはかるとともに顧客満足を上昇させ、あわせて環境保全及び安全対策をはじめ社会的課題への対応をめざす戦略的な経営管理」 (JIS Z 0111:2006 物流用語)

これが狭義のあるべき姿

まさにSDGs対応

- “SDGs”から出発せず、自分や組織に必要な取り組み(あるべき姿)から考え始める!
- 取り組みが何(誰)とどのように関係し、社会にどのような影響を与えるのかを想像する!

12

## SDGs × 物流の定義と関係性

SDGsへの取り組みを始めるにあたり、「(事業のなかで、) いかにかSDGsの各ゴールを達成すること」ではなく、「自社のあるべき姿から考え始めること」を出発点とするのはいかがでしょうか。

望ましい将来の姿を具体的にイメージする  
★何を“幸せ”や“価値”と捉えるか★

- 市民として: 個人、家族、住んでいる地域
- 企業として: 部署、組織、会社、業界
- もっと広い範囲で: 地域、国、世界、宇宙、...

【外発的動機】  
社会からの要請(外圧)  
★迫り来るリスク

【内発的動機】  
どのようにありたい・したい(意志)  
★背後にある大きな機会

将来に向けたアクション(対応)をする

- 現状の把握
- 問題の確認
- 課題の明確化
- 対策・解決策の具体化

“目指すべき〇〇”の実現に向けた対応の結果が  
SDGsで示された社会課題の解決につながる

13

WGメンバーが実践している（SDGsを見据えた）ロジスティクスの取り組み事例をまとめました。（第4章）

#	事例企業	概要（キーワード）
1	花王（株）	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者起点のESG戦略</li> <li>循環化社会、脱炭素社会への対応</li> <li>将来のロジスティクス（つながる）</li> </ul>
2	ダイキン工業（株）	<ul style="list-style-type: none"> <li>目指す価値創造（経済価値と環境価値・社会価値）</li> <li>全社戦略と連動した物流戦略</li> <li>ホワイト物流宣言</li> </ul>
3	ヤマト運輸（株）	<ul style="list-style-type: none"> <li>サステナブル経営の策定</li> <li>パートナーと荷主、地域社会と取り組む（協働）</li> <li>物流プロセス改革</li> </ul>
4	（一財）日本気象協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象データにもとづく需要予測や災害予測を活用して荷主ー物流事業者間でのロジスティクス連携を支援するサービス</li> <li>ムリ・ムダ・ムラの削減による持続可能性追求</li> </ul>

事例企業に所属するWGメンバー各位が執筆しました<sup>14</sup>

## SDGsとロジスティクス

SDGsへ取り組みは、まず自らのWhyを考えることからだと考えます。「入門ガイド」がみなさんの取り組みのきっかけになれば幸いです。

- 誰のため、何のための“SDGsとロジスティクス”？  
⇒ 自分のため、会社のため、社会のため、世界のため！  
⇒ それらの持続的な営みのため！
- “SDGsとロジスティクス”を“自分ごと”として捉えるには？  
⇒ 目指すべき姿を想像し、その“意味”を考える！
- “SDGs×ロジスティクス”の要点は？  
⇒ 他者（SC）との関係性（繋がり）の理解と構築が重要！
- 先ずは、「どのようにSDGsに取り組んでいくのか（How）」よりも「なぜSDGsに取り組んでいるのか（Why）」を重視



## ロジスティクス分野における SDGsの捉え方と実践のための課題 ご清聴ありがとうございました。

アンケート調査にご協力いただいた  
JILS会員の皆様に御礼を申し上げます。  
ぜひ、「SDGs×ロジスティクス」入門ガイドをお読みください。  
感想・ご意見等を歓迎します。JILSまでお気軽にお寄せ下さい。

<https://www1.logistics.or.jp/news/detail.html?itemid=696&dispmid=703>

